

Bulgaria Sofia Boys' Choir

ブルガリア ソフィア少年合唱団



ソフィア少年合唱団は、1968年にブルガリア初の少年合唱団として創立されました。主に8～15歳のソフィア在住の少年達から選ばれました。

1989年より指揮者をつとめているアドリアナ・ブラゴエヴァ女史（Prof. Dr. Adriana Blagoeva）は、ソフィアの国立音楽アカデミーで合唱指揮を学び、現在、アカデミーの合唱指揮の教授及びブルガリアコーラス協会の副代表でもあります。

1997年11月よりソフィア少年合唱団の卒業生も加わり、大きなグループとなりました。年長者のメンバーも今回一緒に来日します。

合唱団は、数多くの国民的音楽祭に参加し、クリスマスやイースターのコンサートは、ソフィアにおける、ひとつの伝統となっています。

ブルガリア正教の聖歌や、歌い継がれてきた楽しいフォークロア、14世紀から現代にいたるまでの多様な作品、さらにロシア、イギリス、アルゼンチンの曲などもカバーする広いレパートリーを誇っています。また、沢山のブルガリアの著名作曲家が作品を提供してきました。

今日に至るまで、ブルガリア国営ラジオ、テレビが、その演奏を数多く取り上げ、知名度も絶大なものです。

ソフィア少年合唱団の受賞歴は、何といてもイタリアの伝統あるアレツォのコンクールにおける少年少女合唱団部門で1位、教会音楽部門で2位、総合でグランプリを受賞したことです。

この受賞により、1994年スペインのトロサで開催されたヨーロッパグランプリのコンクールにブルガリアから初めて参加する栄誉が与えられました。その後も、自国だけではなく、イタリア、フランス、ロシアなどで毎年のように賞を獲り、演奏旅行もヨーロッパ各地で行なわれています。

今回は、待望の2回目の日本公演となります。

【参加合唱団】

◆◆ 福島県立福島東高校 ◆◆

みなさんこんにちは！福島東高校合唱団です。

私達は歌や音楽が好きで部員が集い、より素敵なハーモニーを求めて毎日練習に励んでいます。ですが何の伝統か、毎年文化部らしからぬ賑やかな部員が集う傾向にあるようで…。鼻歌を口ずさんでいたり、部活終了後部室に残って合唱していたり、帰り道歩きながら歌っていたり、というようにとにかくいつでも歌っています。そんな個性派集団ではありますが、全員が同じ目標に向かって努力することで良い方向に向かい結束力も強まっています。

本日は、ソフィア少年合唱団の皆様との共演を楽しみながら、客席に素敵な音楽をお届けできるよう、精一杯歌います。

（部長 阿部剛士）

◆◆ 福島市立福島第三中学校 ◆◆

皆さんこんにちは！福島市立福島第三中学校合唱部です。私たちは十六人という少ない人数ですが、みんなが仲良く、笑顔で楽しみながら歌うことを目標に日々練習に励んでいます。NHK合唱コンクールや声楽アンサンブルコンテストに向けた練習はもちろんのこと、校内演奏会や文化祭での発表など、活発に活動しています。

このたび、ソフィア少年合唱団の皆さんと同じステージに立てる貴重な機会をいただき、とてもうれしく思います。皆さんの歌声を聴いたり、一緒に歌ったりする中で、たくさんのことを学び、吸収して、今後の練習に生かしていきたいと思っています。

そして、音楽を通してたくさんの人に希望と感動を届けられるよう、心を込めて歌いたいと思います。

（部長 鶴巣愛羅）

◆◆ 福島市立鎌田小学校 ◆◆

私たち鎌田小学校合唱部は、4年生から6年生まで29人で楽しく活動しています。

鎌田小学校は、特設クラブの活動が大変盛んで、陸上部、水泳部、合奏部、合唱部の4つのクラブがあり、それぞれに目標に向かって頑張る練習に励んでいます。その中でも合唱部は『音楽が好き、歌うことが好き』という仲間が集まって「笑顔で歌って聴いている人を幸せにしよう」というめあてをもって練習に取り組んでいます。特に、今年度から入部した部員は、5・6年生に声の出し方を教わりながら響きのある声で歌えるようになってきました。それに伴い、表情も明るくなり、少しずつですが自信も出てきたようです。

今日は、会場のみなさんに幸せを届けられるように心をこめて歌います。

（部長 平塚さくら）